

福祉の“いま”と“未来”が見えてくる。

# 福祉の“リアル”が聞ける セミナー2023

onちゃん  
やってくる!

**参加無料**  
会場参加  
オンライン参加  
お選びいただけます。

**予約特典**  
事前予約者に  
1,000円分の  
クオカードプレゼント!  
※アンケートにお答え  
いただいた方のみ

**日時** 2023年11月4日(土)  
【セミナー】13:00～  
【個別相談・交流会】14:30～  
【同時開催】福祉の展示・体験マルシェ

主催：福祉の“リアル”が聞けるセミナー実行委員会

- 社会福祉法人札幌報恩会 ● 社会福祉法人新篠津福祉会
- 社会福祉法人愛誠会 ● 社会福祉法人北海道ハピニス
- 社会福祉法人はるにれの里 ● 社会福祉法人おやふる 人生振の里
- 社会福祉法人北海道長正会 ● 社会福祉法人北ひろしま福祉会
- 社会福祉法人後志報恩会

後援 HTB 北海道テレビ

**会場** 札幌市中央区北一条西1丁目  
札幌市民交流プラザ2F  
札幌文化芸術交流センター SCARTS

**参加形式** 会場参加とオンライン参加  
からお選びいただけます

**対象者** 中学生以上なら、  
どなたでも参加可能

\*セミナーおよび個別相談・交流会とも会場参加の際は、感染予防対策として国のガイドラインに則り、会場参加の方には検温と手指消毒を行います。また、体調不良の方や体温が37.5℃以上の方の入場をお断りする場合があります。

**参加お申込み方法**  
申込フォームから予約受付が可能です。  
<https://forms.gle/Xutu5hYgSPndYUX38>

申込締切 2023年10月31日(火)

**Q.** 仕事のやりがいや魅力、やって良かったこと、また福祉の重要性は、どんなところですか？

**松田さん** 利用者様とコミュニケーションがきちんと取れ、気持ちや思いをくみ取り、寄り添った支援ができたときは嬉しいですよ。「松田さん、ありがとう」という言葉が励みになります。そして小さな変化に気付けるチカラや協調性が身に付き、自分の成長にもプラスになってます。そうですね。利用者様と向き合い、気持ちの変化を感じ、ひびひびりに合ったサポートができ成果に繋がったときは感動します。

**熊木さん** 福祉の仕事は自分が誰かの役に立っていることを実感しやすい職種です。社会が求めている分野ですし、これからますます必要とされる重要性を日々感じています。いま2年生で施設に実習も行って、現場を体験して「やっぱり福祉の仕事をしたい」と感じています。たが第線で活躍している皆さんのお話を聞いていて、さらに福祉の仕事が魅力的に思えます。



若手職員×専内学校生  
GAKUWARI  
**福祉の仕事  
座談会**

世界規模で社会の多様化が進み、そして日本で迎えている高齢化社会。ますます重要性が高まる「福祉」の仕事について、第1線で活躍している若手職員と学生がディスカッション。「いま、福祉の現場では?」「仕事の魅力・やりがいについて」「これからに向けて学生は、どう考えるか」など、自分達の将来にもつながる真剣トークをご紹介します。

**職員: Side**

**高橋 周利さん** 社会福祉法人 北海道ハピニス 和幸園・グリーンハイム  
障害者支援施設 新しのつ幸生園

**鈴木 くりみさん** 指定障がい者支援施設 とみがおか

**前野 遼さん** 社会福祉法人 人生振の里  
障がい者支援施設 厚田はまなす園

**小笠原 大晃さん** 社会福祉法人 人生振の里

**森田 恵水さん** デイサービスセンター こすもす

**仁部 亮平さん** 社会福祉法人 札幌報恩会

**三上 葉月さん** 社会福祉法人 札幌報恩会

**熊木 博耶さん** 社会福祉法人 札幌報恩会

**Q.** 福祉について、学生達に理解してほしいことは何ですか？

**前野さん** どんな仕事も辛くて大変なこともあると思います。でも利用者様に感謝されて、人と関われる喜びがあり、自分も成長できる仕事は福祉ならではの経験や資格に関係なくチャレンジして欲しいです。

**野村さん** 福祉の世界の先輩達の話聞いて、学校で福祉・介護の技術を心をつっかり学び、早く現場で活躍したくなりました。貴重なお話、ありがとうございました。

**Q.** なぜ、福祉の仕事を選ぼうと思いましたか？

**仁部さん** 中学2年の夏に野球のコーチに誘われて福祉施設の行事に参加し、初めて障がいがある方と接しました。そして高校在学中に知人の紹介で現在勤めている施設を見学。福祉の現場を目の当たりにして、人の役に立つ仕事をしたいと思い入職したんです。

**高橋さん** 専門学校を卒業後、お肉屋さんで働いてました。正直なところ福祉の仕事をしたくて就職したわけではないのですが、今はやりがいを持って生まれ育った新篠津村の福祉に貢献するため頑張ってます。

**安井さん** 皆さん色々な経緯があるんですね。私は福祉関係の学校に進学したのは、今まで支えてくださった方々に恩返しをしたかったからです。相手の感謝されるような介護士になりたいです。

**前野さん** そういう想いの強さが番大切ですね。

**Q.** いつ、どんなきっかけで進路を決めましたか？

**松田さん** 小さい頃から母親が働いているグループホームにお邪魔することが多くて、福祉の仕事が自分に向いていると思いきや同じ「せいとく」に進学しました。

**野村さん** 私も母が介護福祉士として活躍しているので、私もなりたいかったです。

**鈴木さん** 私は小学校の時仲良かった友達が障がいを持ってたことがきっかけで、社会福祉士の資格を取ることができる大学に進学。相談員やヘルパーの経験を経て、いまの職場に就きました。

**Q.** 現在の職場での仕事内容や、任されている分野について教えてください。

**森田さん** 障がい者入所施設で食事の介助、物品やスケジュールの管理をしています。利用者様の気持ちや行動の背景などを考えながら必要な支援をしています。それ、わかります。学校の先生から技術ばかりに目がいって、利用者さんが見えてないことを指摘されたことがありますが。やっぱり相手の目線に立ってですね。

**三船さん** 私はデイサービスの介護職員として、食事・入浴機能訓練の関わる業務全般の他、レクリエーションの立案と実施余暇活動の過ごし方などの事業管理等、幅広い仕事の中心的役割をしています。もともと福祉の仕事が未経験も働ながら資格を取得できることも魅力です。

**学生: Side**

せいとく介護こども福祉専門学校 介護福祉科2年 **竹内 彩さん**

せいとく介護こども福祉専門学校 介護福祉科1年 **野村 菜月さん**

せいとく介護こども福祉専門学校 介護福祉科2年 **三船 翔夢さん**

せいとく介護こども福祉専門学校 介護福祉科1年 **安井 小次郎さん**